

第2期若桜町総合戦略≪評価シート≫

令和5年12月28日公表

【計画期間】令和3年度～令和7年度

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）				3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）
	項 目		策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）			
							実 績	達成率	実 績	達成率		
I すべての人にやさしいまちづくり	数値目標	出生数≪年実績≫	12人	15人	5	町民課	2人	-333.3%	11人	-33.3%	■出生数は年により増減が大きいため、 出生後の定住状況の確認が必要	■産後ケア事業、産後ヘルパー事業 ①R3:205千円、R4:205千円 ②R3:12千円、R4:118千円 ③産後ケア（生後6か月までの母と児がデイケア、ショートステイを利用） 産後ヘルパー（生後1か月までの間ヘルパーによる家事援助育児補助を利用） ④引き続き事業の周知をし、利用促進を図る ■不妊不育治療費助成 ①R3:468千円、R4:400千円 ②R3:468千円、R4:100千円 ③不妊等に悩む人への治療費を県に上乗せして助成 ④引き続き事業の周知をし、利用促進を図る
		合計特殊出生率≪年実績≫	1.25	1.65	5	町民課	0.18	-267.5%	1.68	達成	■出生数と同様に年による増減が大きいた め、R4年度は達成しているが、今後も 確認が必要	■出産祝金支給事業 ①R3:900千円、R4:950千円 ②R3:150千円、R4:900千円 ③出産祝金の支給 （第1子及び第2子：50,000円、第3子以降：100,000円） ④R5年度から、「かがやけ未来！子ども・子育て応援祝金事業」に統合し実施
		社会増減数（転入者数－転出者数）≪年度実績 ≫	-24人	-12人	5	町民課	-49人	-208.3%	-40人	-133.3%	■担当課のみでの分析は困難。全体の事 業効果を含めた分析が必要	■若桜町大学等奨学資金の返還支援 ①R3:360千円、R4:360千円 ②R3:180千円、R4:66千円 ③返還支援助成対象者2名 ④制度の周知 ■新婚世帯の住宅改修等への助成 ①R3:0千円、R4:1,800千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③対象期間内に婚姻し、町内に住み続ける意思のある夫婦に対し、住宅改修費用 や引越費用などを補助する ④実績がないため、継続し制度の周知を行う ■若桜町住宅支援補助等 ①R3:5,800千円、R4:22,800千円 ②R3:1,650千円、R4:2,000千円 ③新築・住宅取得・Uターン改修補助等 ④新町の宅地造成の時期に合わせて予算の増額を検討する必要あり
		移住者数≪累計≫	35人	200人	5	企画政策課	2人	1.0%	7人	3.5%	■新型コロナ禍で地方移住の関心が高ま り相談数は伸びたものの、対面相談が難 しく、移住に繋がらないケースが多かつ た	■移住者住宅新築等補助金 ①R3:4,000千円、R4:4,000千円 ②R3:2,000千円、R4:0千円 ③町外からの移住者に対する住宅新築・購入費等の補助 ④R4年度より新制度「住宅支援補助金」に移行 ■若桜町住宅支援補助等 ①R3:5,800千円、R4:22,800千円 ②R3:1,650千円、R4:2,000千円 ③新築・住宅取得・Uターン改修補助等 ④新町の宅地造成の時期に合わせて予算の増額を検討する必要あり

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）					3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）
	項 目			策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）			
								実 績	達成率	実 績	達成率		
I すべての人にやさしいまちづくり	重点 施策	(1)子育て環境 の整備	わかさこども園待機児童数	0人	0人	5	こども園	0人	達成	0人	達成	■現状、入園希望者に対して受入可能な体制にある（スペース、人員） ■裏を返せば少子化ともいえる	■いきいきわかさっ子サポート事業 ①歳出予算なし ②R3:5,346千円、R4:3,446千円 （副食費・保育料減免額） ③副食費・保育料減免を実施 ④他町においても保育料が減免されており、若桜町の独自色が薄れてきている。今後は他町と差別化を図った事業展開の検討が必要 ■全国・県内の研修に参加、県内研修、研究協議会等 ①R3:245千円、R4:388千円 ②R3:208千円、R4:191千円 ③R5年度から全国研修に参加している ④R6年度以降も全国大会には積極的に参加をし、保育・教育の質の向上に努めたい
			若桜学園児童・生徒数	130人	135人	5	教育委員会事務局	122人	-160.0%	113人	-340.0%	■出生減に加え、進学のため進路を町外に希望する児童生徒が出始めている	■英語検定受検費の助成 ①R3:300千円、R4:300千円 ②R3:185千円、R4:117千円 ③英検受検の推奨と実施 ④制度の周知と英検に向けた指導の在り方の検討 ■ICT活用による分かりやすい授業の工夫 ①R3:3,689千円、R4:3,801千円 ②R3:633千円、R4:2,852千円 ③ICT支援員の配置。機器・インターネット環境の整備の実施・更新 ④タブレット更新、デジタル教科書更新時におけるニーズ把握 ■給食費の助成 ①R3:3,671千円、R4:7,006千円 ②R3:3,194千円、R4:6,094千円 ③学校給食費の無償化により、保護者の経済的負担を軽減する ④制度の継続
			わかさこども園卒園後、若桜学園に入学した児童の割合	87.5%	100.0%	5	教育委員会事務局	100.0%	達成	78.6%	-71.2%	■県立特別支援学校へ進路を決定した他、保護者転居、兄弟の進学に合わせた転居があったため達成率が下がった ■一貫教育協議会 ①R3:60千円、R4:60千円 ②R3:60千円、R4:60千円 ③各推進部会を設けて実施 ④より幅の広い交流の推進	■年間交流計画に添って交流事業・保育体験（学園教員） ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③R5年度は通常に戻していく ④こども園での学びを学園での学習につなげていくため続ける ■一貫教育協議会 ①R3:60千円、R4:60千円 ②R3:60千円、R4:60千円 ③各推進部会を設けて実施 ④より幅の広い交流の推進
		(2)生活基盤の 充実	飲食店・食料品販売店新規開業数≪累計≫	3件	5件	7	経済産業課	0件	0.0%	0件	0.0%	■コロナ禍等により新規開業が難しい状況にあったと考えられる	■創業支援補助金の活用 ①R3:1,000千円、R4:1,000千円 ②R3:1,000千円、R4:1,000千円 ③対象者へ補助金を交付 ④事業の周知を図り、創業支援の促進を図る ■買い物環境整備対策事業 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③スーパーの撤退方針を受け、企画政策課内に買い物環境整備対策室を設置し、買い物環境の維持と利便性を図る ④スーパー引継事業者に早期開店を行っていただくとともに、本町の持続的な買い物環境の確保へ向けた諸施策を検討する必要がある
			(3)福祉の向上	特定健診受診率（国保）	49.9%	65.0%	7	町民課	48.4%	-9.9%	48.2%	-11.3%	■コロナ禍となり検診の受診控えが生じ微減となっていると考えられる
	健康診査受診率（後期高齢）	58.2%		75.0%	7	町民課	57.0%	-7.1%	56.4%	-10.7%	■現状数値の把握方法と実績数値の把握方法が異なっており現状より減少していることも一因と考える		

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）					3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）
	項 目			策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）			
								実 績	達成率	実 績	達成率		
I すべての人にやさしいまちづくり	重点 施策	(4)地域防災力の向上	自主防災組織率	80.0%	100.0%	8	総務課	85.7%	28.5%	85.6%	28.0%	■高齢化が進み、特に小規模集落では単独での組織結成が困難なため、近隣の未結成集落が合同で結成することを奨励する	■自主防災組織結成及び活動支援 ①R3:1,045千円、R4:925千円 ②R3:325千円、R4:472千円 ③R2年度～4年度に鳥取県新規設立支援事業補助金を活用し、3団体が組織を結成して備品等を整備した ④地域の高齢化により結成率が停滞しているが、複数の組織が合同で結成することで促進を図る
			地区防災計画策定数≪累計≫	2地区	5地区	8	総務課	0地区	0.0%	0地区	0.0%	■支え愛マップづくり等、住民との防災学習の機会を通じて計画策定の啓発を行い、目標達成を見込む	■地区防災計画づくりの取組 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③計画策定研修会への参加 ④他の市町村との情報交換、取組みを参考に策定率の向上を図る ■過去の災害経験を基に、避難行動のタイミングを検証し住民主体の防災計画の策定につなげる ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③上町・中町・西町がwebワークショップ・まち歩き実施 ④町の避難情報の発表ほか、独自の避難行動開始を定める
		(5)移住・定住の推進	移住・定住活用空き家登録数≪累計≫	6件	15件	9	企画政策課	9件	60.0%	19件	達成	■R3年度に実施した空き家実態調査をもとに所有者への働きかけ等を行った結果、目標を上回る数の登録となった	■空き家再生事業補助金・空き家利活用流通促進事業補助金（住宅での活用） ①R3:5,800千円、R4:7,300千円 ②R3:1,650千円、R4:900千円 ③空き家の利活用のための改修費等を補助 ④利活用可能な空き家の掘り出し、空き家バンク登録の促進、登録住宅の周知・広報等を行っていく
			若者向け住宅の整備（新築・空き家活用・整備補助）≪累計≫	0世帯分	15世帯分	9	企画政策課 地域整備課	0世帯分	0.0%	0世帯分	0.0%	■若者向けシェアハウス等の整備補助を設けているが活用無し（R2年に1件のみ）	■若者地域定着促進事業補助金 ①R3:5,000千円、R4:5,000千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③空き家等を活用したシェアハウス・ゲストハウス等の整備・改修費の補助 ④R2年度に1件の申請があったが、その後新たな申請はない。転用可能な物件の確保等に努めていく ■若桜地区宅地造成事業 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③新町に宅地造成を行う ④特になし
			移住・空き家活用関係補助金交付件数≪累計≫	2件	15件	9	企画政策課	4件	26.7%	12件	80.0%	■R4年度に住宅支援補助金を創設し、申請件数が増加	■移住者住宅新築等補助金 ①R3:4,000千円、R4:4,000千円 ②R3:2,000千円、R4:0千円 ③町外からの移住者に対する住宅新築・購入費等の補助 ④R4年度より新制度「住宅支援補助金」に移行 ■若桜町住宅支援補助等 ①R3:5,800千円、R4:22,800千円 ②R3:1,650千円、R4:2,000千円 ③新築・住宅取得・Uターン改修補助等 ④新町の宅地造成の時期に合わせて予算の増額を検討する必要あり
			移住相談件数≪累計≫	145件	750件	9	企画政策課	217件	28.9%	636件	84.8%	■新型コロナ禍で地方移住の関心が高まり、オンライン等での相談も普及したため件数が増加	■移住定住ホームページの運営・SNS等での情報発信 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③移住定住や空き家等の情報をホームページ・SNSにより周知 ④R4年度より町公式ホームページとSNS（facebook・Twitter）で情報発信を実施中。空き家動画や、他団体とのコラボ企画も実施 ■移住相談会への出展 ①R3:53千円、R4:291千円 ②R3:50千円、R4:105千円 ③麒麟のまち移住相談会 ④東京・大阪の相談会（各1回）麒麟の町で出展する

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）				3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）		
	項 目		策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）					
							実 績	達成率	実 績	達成率				
Ⅱ 地域資源を活かしたまちづくり	数値目標	観光入込客数		267,674人	300,000人	11	経済産業課	261,330人	-19.6%	280,666人	40.2%	■観光協会事業への補助金確保 ①R3:15,950千円、R4:14,302千円 ②R3:15,860千円、R4:13,611千円 ③観光協会の運営補助 ④町の観光施策実施に向け、同協会との連携を密にした事業を進める ■鬼っこまつり・清流まつり・納涼花火大会の実施 ①R3:199千円、R4:1,271千円 ②R3:199千円、R4:1,271千円 ③コロナ禍により一部中止もしくは規模を縮小して実施 ④町外からの集客や地域経済等の活性化につながる実施方法の検討		
		町内宿泊施設延べ宿泊者数		13,318人	20,000人	11	経済産業課	4,658人	-129.6%	7,134人	-92.5%	■宿整備支援（創業支援補助金の活用） ①R3:1,000千円、R4:1,000千円 ②R3:1,000千円、R4:1,000千円 ③対象者へ補助金を交付 ④事業の周知を図り、宿内での創業支援が増えるよう取り組みを進める。伝建地区内の美装化のあり方について関係課と検討を進める ■コンベンション開催助成 ①R3:750千円、R4:1,147千円 ②R3:175千円、R4:783千円 ③町外からの団体の町内施設での宿泊を支援 ④コロナ禍明けを契機に、事業周知により宿泊者の増加を目指す		
	重点施策	(1)交流人口の増加	若桜鉄道イベント列車乗客数≪累計≫		0人	4,000人	11	企画政策課	544人	13.6%	1,078人	27.0%	■コロナ感染症拡大の影響により、R3上半期の利用がなかった ■過密を避けるためか少人数での利用が多かった	■観光列車を軸としたツアー造成、イベント列車の運行 ①R3:3,908千円、R4:3,258千円 ②R3:2,240千円、R4:2,890千円 ③貸切列車にアテンダントが乗車し沿線観光案内を実施した ④町内観光施設と連携し、鉄道利用者への割引特典の設定や鉄道を中心とした町内周遊プランなどを検討する
			若桜鉄道イベント列車運行収入≪累計≫		0千円	3,040千円	11	企画政策課	1,546千円	50.9%	3,298千円	達成	■コロナ感染症の影響はあったものの、誘客応援事業の実施やコロナ感染が落ち着いたことなどから、R4下半期の運行回数が大幅に伸びた	
			若桜駅活性化イベント集客数≪累計≫		0人	1,200人	11	企画政策課	0人	0.0%	0人	0.0%	■トロッコの構内運行 ①R3:0千円、R4:3,507千円 ②R3:0千円、R4:3,507千円 ③鉄道イベント等においてトロッコ貨車を活用するため、若桜駅構内の施設整備を実施 ④特になし ■駅周辺で小規模イベントを年複数回開催 ①R3:700千円、R4:700千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③コロナ感染症拡大防止のためイベント実施を自粛 ④特になし	
			若桜鉄道と連携し、地場産品を活用した特産品として商品開発した販売売上額≪累計≫		0千円	3,500千円	11	企画政策課	0千円	0.0%	0千円	0.0%	■地場産品を活用した特産品の開発 ①R3:1,002千円、R4:2,091千円 ②R3:0千円、R4:2,091千円 ③地場産品を活用した特産品（エゴマクッキー缶）を開発した ④特になし	
			通訳が可能なガイドの育成		0人	2人	11	経済産業課	0人	0.0%	0人	0.0%	■コロナ禍等で外国人観光客が増えず、需要がなかったため増えなかったと考えられる	■まち歩きガイド育成事業 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③観光協会事業で実施 ④観光協会と連携し、ガイドの養成を図る
			氷ノ山登山者数≪累計≫		3,616人	19,400人	11	経済産業課	4,357人	22.5%	8,164人	42.1%	■グリーンシーズンゲレンデ活用事業（Eバイク・グラススキーをメインとした集客事業） ①R3:2,000千円、R4:2,000千円 ②R3:1,856千円、R4:1,932千円 ③Eバイク・グラススキー等購入。ゲレンデの危険な場所を整地し芝を整備 ④購入したEバイク・グラススキーの維持管理。グリーンシーズン事業の周知・広報等を行う ■星空を活用した事業展開・PR ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③星空をPRするため、観光名刺（台紙）を作成。星空フォトコンテストの応募写真展の開催 ④氷ノ山の星空に係る事業の検討。R2年度実施の星空写真コンテストの作品、ポスターの活用 ■SNS活用等による誘客・都市部での集客イベント等 ①R3:1,100千円、R4:1,350千円 ②R3:828千円、R4:671千円 ③雑誌広告作成・YouTube広告作成・ラジオCM等で誘客促進を実施 ④コロナ禍で実施できていなかった都市部での集客イベントの再開	
			氷ノ山キャン場利用者数≪累計≫		4,935人	25,000人	11	経済産業課	3,057人	12.2%	6,428人	25.7%	■コロナ禍等により県外からの宿泊者が増えなかったことが考えられる	

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）					3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）
	項 目			策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）			
								実 績	達成率	実 績	達成率		
Ⅱ した地域資源を活か	重点 施策	(2)特産品の振興	飲食店・食料品販売店新規開業数≪累計≫【再掲】	3件	5件	12	経済産業課	0件	0.0%	0件	0.0%	■コロナ禍等により新規開業が難しい状況にあったと考えられる ■創業支援補助金の活用 ①R3:1,000千円、R4:1,000千円 ②R3:1,000千円、R4:1,000千円 ③対象者へ補助金を交付 ④事業の周知を図り、創業支援の促進を図る	
Ⅲ 豊かな緑のなかで営む	数値 目標	起業・創業・継業者数（補助金交付件数）≪累計≫		3件	10件	14	経済産業課	1件	10.0%	3件	30.0%	■コロナ禍等により新規開業が伸びなかったと考えられる ■ワーケーション・サテライトオフィス等の補助事業周知 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③商工会と連携し相談等対応を行った ④商工会と連携し、効果的な周知を図っていく	
		農林業新規就業者数≪累計≫		1人	5人	14	経済産業課	3人	60.0%	4人	80.0%	■地域おこし協力隊員の受け入れ及び活動支援（農業・有害鳥獣） ①R3:6,133千円、R4:11,045千円 ②R3:6,051千円、R4:0千円 ③募集するが、応募がない状態。農業大学などPR活動実施するも応募に繋がっていない ④継続的な募集活動を実施し、地域の担い手確保に向けた手法の一つとして取り組む ■若桜町林業研究会育成事業費補助金、若桜町林業担い手奨学金支援助成金、鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 ①R3:998千円、R4:847千円 ②R3:481千円、R4:487千円 ③若桜町林業研究会への補助や林業事業体が雇用する労働者の社会保険料を補助するもの ④林業の担い手育成や人材確保を推進するため、補助金による支援を継続する ■担い手、新規就農者の確保に関する取組み ①R3:200千円、R4:1,200千円 ②R3:200千円、R4:1,200千円 ③R4.2月から親元就農支援事業実施（養豚業者） ④農業研修生の受入、親元就農促進、集落営農組織の育成、退職就農者の確保・支援などに努める	
		木材搬出量		20,700㎡	27,000㎡	14	経済産業課	19,500㎡	-19.0%	19,500㎡	-19.0%	■現場の人員不足及び施業地の奥地化により搬出量が伸び悩んでいる ■若桜材需要拡大推進事業費補助金（若桜材仕分け） ①R3:7,500千円、R4:7,500千円 ②R3:2,980千円、R4:3,141千円 ③若桜材の需要拡大等を目的に素材生産共同体が行う仕分けに係る費用を補助するもの ④若桜材の需要拡大を促進するため、補助金による支援を継続する	

1. 基本 目標	2. 数値目標・重要業績評価指標（KPI）					3. ページ	4. 担当所属	5. 年度別達成状況				6 . 分 析	7. 関連する事業名・事業概要 ①予算額 ②決算額 ③具体的実施内容 ④今後の検討課題等と解決方法（方針）
	項 目			策定時 (R1年度)	目 標 (R7年度)			R3年度（1年目）		R4年度（2年目）			
								実 績	達成率	実 績	達成率		
Ⅲ 豊かな緑のな りづくりで営 む	重点 施策	(1)就労支援	納税義務者数（所得割）	1,262人	1,312人	14	税務課	1,212人	-100.0%	1,188人	-148.0%	■人口減少に伴う納税義務者数の減少と思われる	■若桜町商工会補助金の確保 ①R3:5,000千円、R4:5,000千円 ②R3:5,000千円、R4:5,000千円 ③商工会へ補助金を交付 ④商工会が企業に対し必要な支援ができるよう今後も予算の確保を図る ■働く場所の維持並びに確保 ①R3:0千円、R4:0千円 ②R3:0千円、R4:0千円 ③各種支援や商工会と協力 ④商工会と連携しながら雇用の維持を図るための支援・取り組みを進める
		(2)産業の振興	農業関係事業者の新規雇用者数 ≪累計≫	0人	3人	15	経済産業課	3人	達成	4人	達成	■農業研修生の受入、親元就農促進、集落営農組織の育成、退職就農者の確保・支援などに努める	■地域おこし協力隊員の受け入れ及び活動支援（農業・有害鳥獣） ①R3:6,133千円、R4:11,045千円 ②R3:6,051千円、R4:0千円 ③募集するが、応募がない状態。農業大学などPR活動実施するも応募に繋がっていない ④継続的な募集活動を実施し、地域の担い手確保に向けた手法の一つとして取り組む ■担い手、新規就農者の確保に関する取組み ①R3:200千円、R4:1,200千円 ②R3:200千円、R4:1,200千円 ③R4.2月から親元就農支援事業実施（養豚業者） ④農業研修生の受入、親元就農促進、集落営農組織の育成、退職就農者の確保・支援などに努める
			林業・木材関連人口の増加	0人	3人	15	経済産業課	0人	0.0%	0人	0.0%	■3Kイメージ、所得の低さ	■若桜町林業研究会育成事業費補助金、若桜町林業担い手奨学金支援助成金、鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 ①R3:998千円、R4:847千円 ②R3:481千円、R4:487千円 ③若桜町林業研究会への補助や林業事業体が雇用する労働者の社会保険料を補助するもの ④林業の担い手育成や人材確保を推進するため、補助金による支援を継続する
			燃料用木材チップ生産量	3,597㎡	8,000㎡	15	経済産業課	1,460㎡	-48.5%	817㎡	-63.1%	■町内の需要が少なく生産量が低迷している	■若桜町間伐材搬出促進事業費補助金 ①R3:26,000千円、R4:22,700千円 ②R3:14,155千円、R4:12,853千円 ③間伐材（若桜材）を町内製材所へ販売した者へ補助するもの ④町内製材所への安定的な原木の供給を推進するため、補助金による支援を継続する ■若桜材需要拡大推進事業費補助金（若桜材仕分け） ①R3:7,500千円、R4:7,500千円 ②R3:2,980千円、R4:3,141千円 ③若桜材の需要拡大等を目的に素材生産共同体が行う仕分けに係る費用を補助するもの ④若桜材の需要拡大を促進するため、補助金による支援を継続する